

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	老人保健健康増進等事業		担当部局庁	老健局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成2年度		担当課室	総務課		総務課長 福本浩樹			
会計区分	一般会計		施策名	IV-5-2 高齢者の介護予防・健康づくりを推進し、生きがいづくり及び社会参加を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助		関係する計画、通知等	老人保健健康増進等事業の実施について(平成15年5月21日老発第0521001号厚生労働省老健局長通知) 老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分)の国庫補助について(平成15年6月9日厚生労働省発老第0609001号厚生労働事務次官通知)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者の介護、介護予防、生活支援、老人保健及び健康増進等に関わる先駆的、試行的な事業等に対し助成を行い、もって、老人保健福祉サービスの一層の充実や介護保険制度の適正な運営の資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地方公共団体、民間団体に対し以下の事業に係る公募を行い、外部の有識者により構成される評価委員会の審査結果に基づき、予算の範囲内で補助金を交付。 ①介護保険制度の適正な運営・周知に寄与する調査研究事業 ②高齢者保健福祉施策の推進に寄与する調査研究事業 ○補助率:10/10								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	3,000	2,700	2,650	2,267	2,267		
		繰越し等				△ 45	45		
		計	3,000	2,700	2,605	2,312	2,267		
	執行額	2,947	2,664	2,564					
	執行率(%)	98.23%	98.67%	98.43%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	公募した調査研究課題(テーマ)に対する応募件数	成果実績	応募件数		82	65	86	75	
		達成度	%		93%	82%	93%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	調査研究事業の件数	活動実績(当初見込み)	事業件数		251	235	181	162	
						(-)	(-)		
単位当たりコスト	(14.2百万円/1事業あたりの費用)			算出根拠	総執行額(2,564百万円)/総事業件数(181件)				
平成23年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	補助金	2,267	2,267						
	計	2,267	2,267						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度において、より一層の適正化を図るため以下の見直しを行ったところであり、引き続き適正な事業実施に努めてみたい。</p> <p>○事業完了後に評価委員会を実施し、専門家の視点から事業の成果に係る事後評価を導入。なお、実施成果が著しく不良であった事業の実施主体が申請する翌年度の事業は補助対象外とすることとした。</p> <p>○評価委員会の下に会計の専門家により構成される専門審査分科会を設置し、応募のあった法人の財務状況を審査。</p> <p>○事業の実施主体から次の二つを対象外とした。</p> <p>①申請する前年度における法人としての事業実績がない又は良好な運営がなされていない法人</p> <p>②過去に不正を行った法人で5年を経過していない法人</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>・本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>・引き続き効率的な執行に努める</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
2,605百万円

高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する事業を公募により募集し、評価委員会の評価結果に基づき採択

↓
【公募・補助】

A. 都道府県、市町村、関係団体
(計102)
【2,564百万円】

調査研究事業の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A. 株式会社 三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	調査研究者への賃金	140			
委託料	調査データ入力業務等委託	52			
印刷製本費	調査票、調査研究報告書等作成	3			
報酬	研究委員会委員謝金、調査協力謝金	2			
旅費	調査旅費	2			
通信運搬費	調査票、調査研究報告書等送料	2			
使用料及び借料	調査データ管理サーバー借り上げ費用	2			
計		203	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 三菱総合研究所	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	203	-	-
2	財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	90	-	-
3	社団法人 全国訪問看護事業協会	介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	80	-	-
4	特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	69	-	-
5	特定非営利活動法人 シルバー総合研究所	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	67	-	-
6	財団法人 長寿社会開発センター	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	64	-	-
7	社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	62	-	-
8	一般社団法人 日本介護支援専門員協会	介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	58	-	-
9	国立大学法人 東京大学	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	55	-	-
10	社会福祉法人 浴風会	高齢者福祉施策の充実や介護保険制度の適正な運営に資する調査研究事業	55	-	-